

### 地域情報提供のためのウェブデザイン教育教材開発

○今中厚志〔横浜美術大学〕・古性淑子〔横浜美術大学〕

キーワード：地域情報 ウェブデザイン 位置情報サービス

美術・デザインを専門とする学部生に対し、「ウェブデザインⅠ・Ⅱ」と題したデジタル技術を利用して表現活動をするための基礎的技術を身につけさせるための授業を担当、その課題の中で「地域情報」を提供するウェブサイトの制作を課題としている。

地域の魅力を伝えるにはインタラクティブなコンテンツに優位性があり、授業内容の理解度を高めるための教材の開発が必要であるが、授業内容の理解度を高めるための教材の開発が必要であり、昨年の大会での報告を踏まえ、教材を制作する。

ウェブページ形式での教材作成により、最新の技術動向を踏まえたコンテンツ制作のための教材開発が容易ではないかと考えた。本研究では、地図情報などのインタラクティブ要素を適用するための教材の検討を行い、開発を試みる。具体的には、ウェブサイト制作のためのチュートリアルを制作し、受講学生の地域情報を結びつけたウェブサービスに対する利用状況(Airbnb、Uberなどのシェアリングエコノミー、Pokemon GOなどの位置情報サービス)、リテラシの調査と教材評価を含めた結果を報告する。

本報告を踏まえ、アクティブラーニングなどの動向を踏まえた授業の改善を進めたい。

### 瀬戸内海島嶼部における花の景観づくりの変遷に関する研究-岡山県六島の水仙を事例に-

○濱久保 衛〔東京農業大学〕 町田 怜子〔東京農業大学〕 麻生 恵〔東京農業大学〕

瀬戸内海島嶼部では桜や水仙などの美しい花の景観を有している島が多く見受けられる。

これらの多くの島では昭和 60 年代以降に人口流出や高齢化などの影響により発生した耕作放棄地に地域住民らが植え付け活動を行ったものである。この活動の結果、現在では景観修復や新たな観光資源となるだけでなく高齢者の生き甲斐や活動を通じた島内交流の活性化にもつながっている。一方これらの植え付け活動は住民単位で始まり広がったものであり、個々の活動の記録はあるものの当時から現在に至るまでの活動を時系列化した先行研究は見当たらない。そこで本研究では岡山県笠岡市六島の水仙を事例に植え付け活動の変遷を明らかにし時系列化することにより一過性のものに留めず、今後の持続可能な維持管理体制づくりへの展望を示すことを目的とした。調査方法に関しては該当地域である笠岡市や地域の自治組織である六島まちづくり協議会の資料を中心に文献調査、また植え付け活動に携わっている地元住民や地域の NPO 法人にヒアリング調査を行い、植え付け活動の変遷を明らかにした。本編は植え付け活動の変遷を明らかにし、持続可能な維持管理への展望を提言してものである。